

3つの多様性



①生態系の多様性

自然環境には森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁など多様な環境が形成されています。

②種(種間)の多様性

生物には細菌などの微生物から動植物にいたるまで多様な生物、役割を持った生物が存在しています。



③遺伝子の多様性

同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様が千差万別なことで多様な個性が存在します。

生物多様性の危機



第1の危機

人間活動や開発など、人が引き起こす生物多様性への影響。開発による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少など。



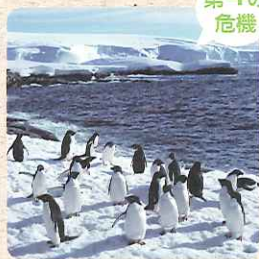
第2の危機

人間活動が縮小(里地里山などの手入れ不足等)することによる、自然の質の低下。



第3の危機

外来種や化学物質など人が持ち込むことによる生態系の攪乱。



第4の危機

地球温暖化による環境の変化が生物多様性に及ぼす影響のリスク。

「生物多様性」ってナニ!?



地球に生命が誕生してから38億年もの間に様々な生物が誕生しました。地球上には森や海、川や湖など多様な環境が存在し、その環境に適応し、進化した3,000万種もの生物が存在します。生物の多様さには、生態系から遺伝子や種とまで3つのレベルがあるとされています。生物多様性とは、様々な生物たちの豊かな個性とそれらがあらゆる関係でつながり、支えあっていることを指します。生物が多様であることは、私たちのいのちやくらしを支えられています。

生態系がもたらす恩恵



くらしを守る自然の恵み

飲料水の確保や植物による山崩れや土壌の浸食の防止、気候を和らげるなど、生活環境が保たれています。

くらしを支える生物の恵み

衣・食・住・医療・石油や石炭、あらゆる資源を生物から得ることで生活と経済活動を成り立たせています。



多様な文化を生み出す生物の恵み

自然とのふれあいは、芸術や思想、レクリエーション、やすらぎなど様々な形で我々の文化を多様なものにしています。

生物が形成、調整する環境

生態系の中では、生物の活動が水の流れや土壌の形成・調整をし、気候や水循環など地球全体のバランスを保っています。



生物多様性条約について

生物多様性条約は、ワシントン条約(絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約)やラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)などに加えて、地球上の生物多様性の包括的な保全と持続可能な利用を目的としています。

生物多様性条約の目的

1 生物多様性の保全

野生生物の保護やその生息場所を守るための保護地域、外来種の利用を規制すること。

2 生物多様性の構成要素の持続可能な利用

自然を利用する際のルールを明確に定め、将来に向けて持続的に自然の恩恵を受けられるよう引き継ぐこと。

3 遺伝資源の利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分

例えば、熱帯雨林の植物を材料とした医薬品などで得られた利益が、植物の原産国と医薬品メーカーとの間で公正に分配されること。

私たちにできること

私たちが生きる上で必要不可欠な生物多様性。
私たちが、そして未来の子どもたちが豊かにくらすために、
私たちは何をすべきなのでしょう？

自然への興味、理解を深める



自然や生物たちを守るために私たちができることの一つに、自然や生物たちについての知識や理解を深めることがあります。まずは気軽に自然の中に出かけて、その生態系を育む様々な動植物や風景に目を向けて楽しんでみましょう。各地の観察会などに参加してみるのも良いでしょう。

生息環境の保全



生物たちが生息・生育する場所を保全することも大切です。登山や海水浴などで出たゴミはその場に捨てずに持ち帰り、河川敷や道端へのポイ捨てはやめましょう。みんなが実践すれば、生物が住める環境が守られます。また地域の自然を保全する活動に参加するのも良いでしょう。

緑化の推進



自分たちで緑を増やすことも一つです。ベランダや庭で野菜や草花を育てたり、ゴーヤやヘチマを育てて緑のカーテンをつくっても良いでしょう。街中に緑が増えれば、二酸化炭素の吸収量が増えるだけでなく、生物たちの生息場所が増えることにもつながります。

環境配慮型商品を選ぶ



© 1996 Forest Stewardship Council A.C.

家電や食品、文具や生活用品などについているエコマークやリサイクルマーク、省エネマーク。例えば、「FSC」ロゴマークの付いた製品を買うことは、適切に管理された世界の森林を支援することにつながります。エコマークや認証マークを商品選びのポイントにしてみましょう。

ペットは責任を持って飼う



ペットとして飼われていた外国産の動物を飼い主が手に負えず、近くの公園や河川に勝手に放すという行為が多発しています。本来いないはずの外来種が昔からいた生物や生態系そのものに多大な影響を与えることも少なくありません。

自然体験活動を通じて 生物多様性にふれてみよう！

私たちの毎日の暮らしに必要なもののほとんど全てが、生物そのものか生物に由来したものです。私たちは生物がもたらす様々な自然の恵みがあるからこそ、生きることができます。そのことを昔から「自然の恵み」といって、永らく人々は自然を大切にしてきました。今ではお金をせばスーパーなどのお店で何でも買える時代になりましたが、一方で、私たちが自然の恵みによって生きていることが、忘れられがちになってしまいました。自然と直接ふれあう機会が減ってしまった今こそ、自然の中で思いっきり遊んで楽しみ、ふとしたきっかけで、自然と人との関わりを見つけ出すことがあります。JEEFでは、自然とふれあう様々な機会を提供しています。ぜひ一度、ホームページをご覧ください。

生態系が提供してくれるもの

供給サービス

① 食料

主食となる穀物をはじめ、野菜や果実、肉や魚介類、卵や乳製品、多様な生物を食料として得ています。

② 木材

建築材や紙の原料となるパルプなど、木材および木質繊維が利用されています。

③ 水の利用

家庭用や産業用など、地下水や雨水などの淡水を利用しています。

④ 繊維

衣料のもととなる繊維は、絹や麻、カイコの糸や羊毛、羽毛など天然資源を利用しています。

⑤ 医薬品／自然薬品／生化学物質

漢方薬をはじめ、多くの医薬品や薬品が多様な動植物の成分からもたらされています。

⑥ 遺伝子資源

最先端医学や農作物や家畜の品種改良などのバイオテクノロジー分野で利用されています。

生態系が調整してくれるもの

調整サービス

⑦ 大気調整

植物の光合成や有機物の分解によって二酸化炭素と酸素のバランスが保たれています。

⑧ 気候調整

植物の光合成・有機物の分解など、生物の活動と水や大気の相互関係が気候を生み出しています。

⑨ 水の調整

透過性のある土壌や河川の植物や湿地帯などが水を保水し、水の量を調整しています。保水能力が洪水などを防いでくれています。また、地中の微生物が有機物を分解し、水を浄化しています。

⑩ 土壌浸食の調整

地表に生える植物や森林が雨風による土壌の流出を防ぎ、地滑りなどを防いでいます。

⑪ 疾病の予防

生態系の中では、人間の疾病に影響する病原菌や病害虫の極端な発生が抑制されています。

⑫ 病害虫や雑草の抑制

生態系によって家畜への病害虫や疾病の流行や雑草の繁茂が抑制されています。

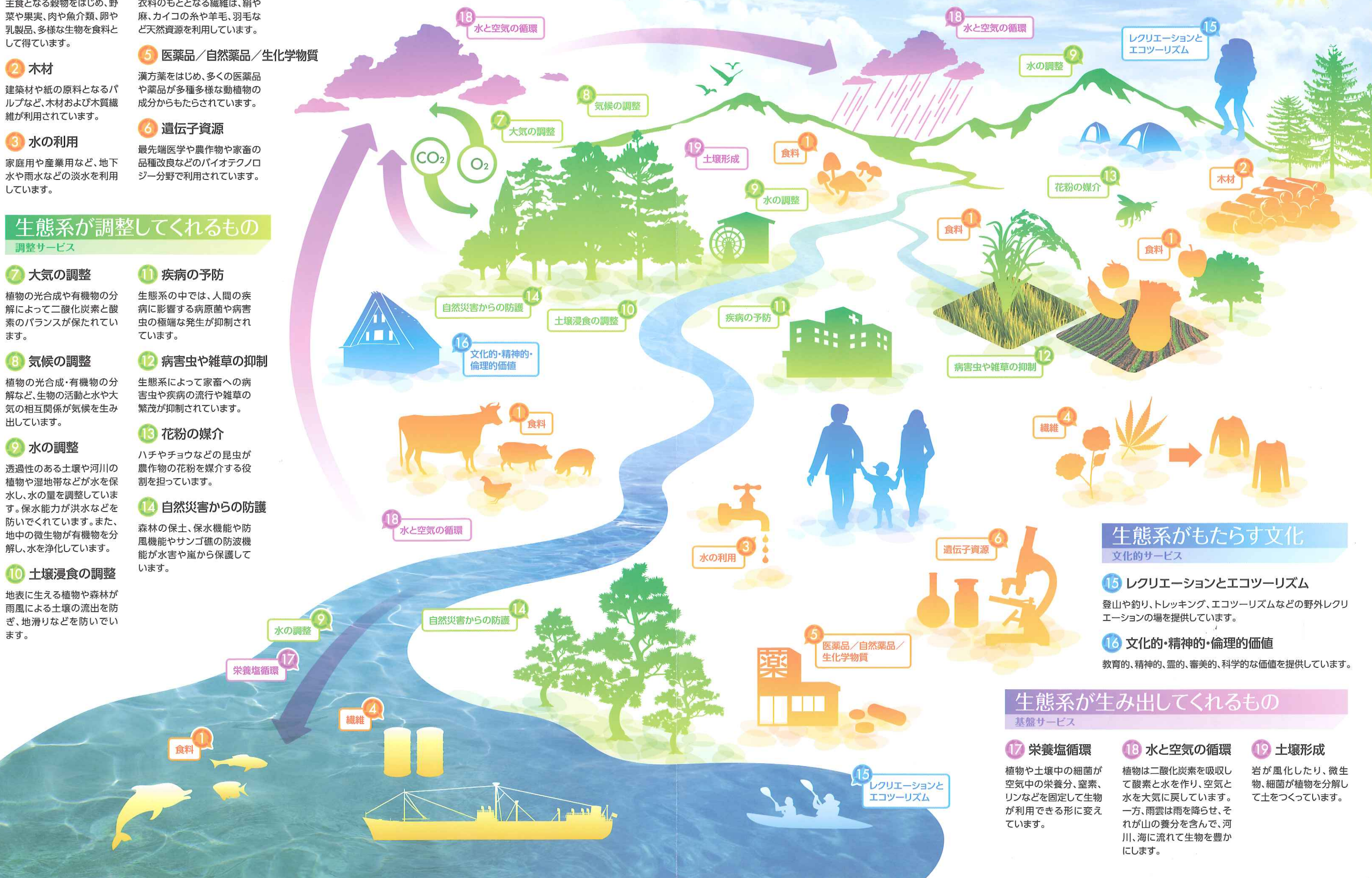
⑬ 花粉の媒介

ハチやチョウなどの昆虫が農作物の花粉を媒介する役割を担っています。

⑭ 自然災害からの防護

森林の保土、保水機能や防風機能やサンゴ礁の防波機能が水害や嵐から保護しています。

生物多様性でつながる私たちの暮らし



生態系がもたらす文化

文化的サービス

⑮ レクリエーションとエコツーリズム

登山や釣り、トレッキング、エコツーリズムなどの野外レクリエーションの場を提供しています。

⑯ 文化的・精神的・倫理的価値

教育的、精神的、霊的、審美的、科学的な価値を提供しています。

生態系が生み出してくれるもの

基盤サービス

⑰ 栄養塩循環

植物や土壌中の細菌が空気中の栄養分、窒素、リンなどを固定して生物が利用できる形に変えています。

⑱ 水と空気の循環

植物は二酸化炭素を吸収して酸素と水を作り、空気と水を大気に戻しています。一方、雨雲は雨を降らせ、それが山の養分を含んで、河川、海に流れて生物を豊かにします。

⑲ 土壌形成

岩が風化したり、微生物、細菌が植物を分解して土をつくっています。